

# 施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名  <b>学習等供用施設</b> (通称：富士センター)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後5時 図書室業務 午前9時～午後5時 老人憩の家 午前9時～午後5時 出張所業務 午前8時30分～午後1時 午後2時～午後5時15分 (開庁日：火・木・土)		
所在地	〒270-1432 白井市富士239-2	併設施設	児童ルーム・図書室・老人憩の家・出張所・ 第三小学校区地区社会福祉協議会	
TEL	047-446-1911	FAX	047-446-2677	
メール	<a href="mailto:fuji270-1432@aurora.ocn.ne.jp">fuji270-1432@aurora.ocn.ne.jp</a>			
休館日	月曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	29台(内1台障害者専用) 臨時駐車場 15台	
職員構成 30年4月現在	正職 センター長1名 事務職1名 (非)事務職3名 児童厚生員1名 (非)児童厚生員1名 (非)司書2名 (非)用務員2名 (非)夜間管理2名 合計13名			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備	
	集会室	20名	350円	長机10台・椅子30脚
	休養室(2)	36名	350円	座卓12台・姿見2枚・座布団50枚
	調理室	24名	720円	調理台4台・長机2台・丸椅子24脚 電子レンジ2台・ガス炊飯器1台・ 冷蔵庫2台
	視聴覚室	20名	780円	長机15台・椅子40脚・ピアノ1台 テレビ1台・ビデオデッキ1台
	大集会室	100名	970円	長机36台・椅子150脚 移動ステージ1セット・卓球台5台
貸し出し 可能備品	CDラジカセ・机・椅子・テント・音響システム・卓球セット・バトミントンセット			

## 平成31年度 公民館等団体別利用状況 (学習等供用施設)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	10	171	95	1,007	27	288	4	15	35	601	17	138	188	2,220
5	21	324	92	903	35	310	1	6	36	507	16	42	201	2,092
6	24	477	95	977	36	375	0	0	40	1,189	16	66	211	3,084
7	20	321	76	775	36	348	0	0	58	2,282	14	137	204	3,863
8	12	171	83	830	20	217	0	0	37	618	11	82	163	1,918
9	17	290	77	727	29	276	2	12	68	1,933	4	22	197	3,260
10	14	294	82	762	36	349	0	0	38	677	8	64	178	2,146
11	17	308	71	708	38	301	2	9	54	1,145	15	70	197	2,541
12	17	349	81	940	32	263	1	6	46	1,249	15	108	192	2,915
1	18	336	83	777	30	295	1	6	35	555	11	58	178	2,027
2	20	353	80	754	32	274	0	0	42	779	9	43	183	2,203
3	10	166	46	396	23	203	1	4	22	281	25	173	127	1,223
合計	200	3,560	961	9,556	374	3,499	12	58	511	11,816	161	1,003	2,219	29,492

### 平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
集会室	579	6,571	40.53
休養室(Ⅱ)	350	3,250	26.05
調理室	84	942	10.89
視聴覚室	375	5,938	26.73
大集会室	831	12,791	60.52
合計	2,219	29,492	

# 平成31年度 学習等供用施設 事業報告

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

## 1. 運営方針

平成31年度 学習等供用施設 運営方針

### （1）全体の運営方針

- ・地域に根ざした事業運営を実施し、地域の拠点となるべく求心力を高める。

### （2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①親自身の成長や子供たちの視野を広げるための子育て学習講座等を実施し、学習機会を提供する。 ②子育て中の親を対象とし、育児の悩みや不安の解消を図れるような交流の場とする。
青少年教育 (2)	①学校、自治会及び関係団体との連携を図り、自ら考え、判断し、行動する力を育成する。 ②行事を通して様々な人達との交流により、地域社会への参加促進に努める。

成人教育 (3)	①講座を通して同じ趣味の人との交流の場づくりを図る。 ②生涯学習の楽しさや意義を学ぶための学習意欲の向上と機会の環境作りに努める。 ③高齢者の悩みに対応した講座を推進し、健康面、問題点について話し合う。 ④地域の人を持っている力や技術をキャッチし、講座からサークル活動に移行するための援助をする。
団体育成 (4)	①講座を通して子供から高齢者までの世代を超えた学びのある環境づくりに努める。 ②市民・サークル団体・地域ボランティア間の交流を図り、その場を提供する。

### (3) 平成31年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・地域団体等との連携による事業の実施と親子及び異世代間の交流を図る。

## 2. 学習等供用施設 講座等実施報告

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数	
家庭教育 (1)	親子教室「いちごクラブ」	①②	7回	230人
	喫茶室「みるく」	①②	8回	520人
	親子ヨガ	①②	1回	22人
	リズムベビーマッサージ	①②	1回	18人
青少年教育 (2)	夏休みゴーゴーチャレンジ 「ハーバリウム教室」	①②	1回	23人
	夏休みゴーゴーチャレンジ 「絵画教室」	①②	2回	27人
	夏休みゴーゴーチャレンジ 「卓球であそぼう」	①②	1回	15人
	冬休み書道教室	②	1回	10人
	子どもクッキング	①②	1回	6人
	土器ッと古代	①②	1回	9人
	チャレンジ登山	①②	3回	5人
	小学生将棋教室	①②	3回	10人
	囲碁教室	①②	3回	4人
	第14回 通学合宿	①②	1回	20人
成人教育 (3)	認知症予防ケア講座	①②③	7回	17人
	ランチクッキング	①②④	3回	44人
	終活セミナー	③	1回	27人

成人教育 (3)	初心者ウクレレ教室	①②④	1回	13人
	初心者茶道教室	①②④	6回	7人
	エコクラフト教室	①②④	3回	10人
	そば打ち教室	①②④	1回	15人
	門松づくり教室	①②	1回	7人
	健康スポーツ吹き矢教室	①②④	1回	10人
	第2回しろい楽トレ体操教室	①②③	23回	25人
	普通救命講習	①②	1回	7人
	男性料理教室	①②④	1回	7人
	家庭菜園・園芸教室	①②	2回	20人
団体育成 (4)	世代間交流	①②	1回	56人
	富士センター音楽祭	①②	1回	338人
	富士クリスマスフェスティバル	①②	1回	300人

## (2) 講座以外に行った事業

- ・電車、ミニカー&おままごと遊び
- ・体育館であそぼう
- ・ハロウィーンフェスティバル
- ・クリスマス会
- ・美化交流
- ・カラオケ交流会
- ・ふじっこダイニング
- ・シニア食堂
- ・こどもの居場所づくり（早朝あずかり）

## (3) 情報の提供

- ・センターだより及び児童ルームだよりの発行
- ・市広報紙へのセンター開催事業情報の掲載
- ・センター開催事業チラシの自治会回覧及び小学校児童への配布
- ・センターホームページへの掲載
- ・センター内、近隣店舗及び地区掲示板への事業ポスターの掲示

## (4) 施設の提供

- ・団体等に学習の場として施設を提供
- ・地域の会合や話し合いの場として施設を提供
- ・地域住民が気軽に集える場としてロビーを開放
- ・地域団体の交流事業等に施設備品の貸し出し

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	学習のねらい
1	4月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・手形とり、身長体重測定</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> 参加人数 幼児12人 保護者8人 (ボランティア9人)	育児の悩みや不安の解消を図る。 子どもの視野を広げる。
2	7月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・パネルシアター「変身おぼけちゃんのはらぺこ大冒険」</li> <li>・紙コップおぼけ作り</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> 参加人数 幼児 16人 保護者11人 (ボランティア 7人)	
3	9月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・アンパンマン運動会</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> 参加人数 幼児18人 保護者17人 (ボランティア 10人)	
4	10月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操</li> <li>・パネルシアター「ハロハロハロウィンのおぼけにへんしん」</li> <li>・ハロウィーン製作</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> 参加人数 幼児 29人 保護者 25人 (ボランティア 6人)	

講座・学級学習プログラム

講座名	親子教室「いちごクラブ」(地区社協共催)		
対象	生後2か月から未就園児迄の親子		
募集人数	40組	参加人数	延べ230人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生後～未就園児の参加のできる講座が少ない。</li> <li>・相談先がなく子育てに不安を抱える保護者や友達のない子どもが増えている。</li> </ul>		
学習期間	令和元年4月～令和2年2月	回数	7回
学習場所	児童ルーム(学習室・保育室)、大集会室		
予算	総額：45,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 45,000円	総額：29,191円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 1,650円 その他事業費 27,541円	決算
講師	「おはなしバスケット」 食育ボランティア「いちにのさん」		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を捉えた講座内容を考え、参加しやすいように心がける。</li> <li>・参加した親子が不安にならないように、目配り・気配り・心配りを地域ボランティアさんをお願いする。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアの協力体制もあり、和やかな雰囲気でも時間が過ぎた。参加者は講座終了後の茶話会で、情報収集に努めていたように見受けられた。</li> </ul>		
備考			

5	11月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・おはなしバスケットさんによる大型絵本の読み聞かせ、紙芝居。</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> <p>参加人数 幼児13人 保護者11人 (ボランティア12人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・クリスマスリース。</li> <li>・ママ達にくじを引いてもらい、ハンドベルと鈴でジングルベルの演奏</li> <li>・サンタさんからお菓子のプレゼントと写真撮影。</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> <li>・最後に日頃頑張っているママ達へ入浴剤のプレゼント。</li> </ul> <p>参加人数 幼児20人 保護者18人 (ボランティア12人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体操や手遊び</li> <li>・食育ボランティア「いちにのさん」による絵本の読み聞かせやクイズ。</li> <li>・参加者同士の交流として茶話会</li> </ul> <p>参加人数 幼児18人 保護者14人 (ボランティア10人)</p>	
6	12月11日		
7	2月12日		
8	3月12日	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	

### 講座・学級学習プログラム

講座名	喫茶室「みるく」		
対象	乳幼児とその保護者、地域住民		
募集人数	自由参加	参加人数	延べ520人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で同じ時間を共有する機会が減少している。</li> <li>・地域の人との関わりが希薄。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人100人と知り合いになろう。</li> </ul>		
学習期間	令和元年4月～令和2年2月	回数	8回
学習場所	児童ルーム(学習室・保育室)、大集会室		
予算	総額：45,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 45,000円	決算 総額：36,135円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 36,135円	
講師	参加者等への指導・援助方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び(手遊び、お誕生月の子どものお祝い、季節を取り入れた工作等)と、タイムの中で、子供と一緒に楽しみながら、親子や保護者同士の交流を図れるよう手助けをする。</li> </ul>		
備考	講座・学級開設の成果(課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア、地域の方と知り合いになることで、センターの中だけではなく地域でも挨拶等ができるようになった。</li> <li>・地域で「子育て」を応援して貰えているという、安心感が持てた。</li> <li>・「みるく」をきっかけにして交流を深め、児童ルームの利用も増えた。</li> </ul>		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	学習のねらい
1	4月5日	手遊び、お誕生日会、パネルシアター、こいのぼり製作の後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児49人、保護者38人 (ボランテニア11人)	親子で過ごせる遊び方の習得、地域の人との交流を深め、居場所を作る。
2	6月7日	手遊び、お誕生日会、カエル製作の後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児26人、保護者21人 (ボランテニア12人)	
3	7月5日	手遊び、お誕生日会、七夕製作、絵本の読み聞かせの後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児31人、保護者28人、 (ボランテニア11人)	
4	9月6日	手遊び、お誕生日会、ミニ運動会をした後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児35人、保護者32人 (ボランテニア11人)	
5	10月4日	手遊び、お誕生日会、ハロウィン遊びをした後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児40人、保護者33人 (ボランテニア12人)	

6	11月1日	手遊び、お誕生日会、おいもほり遊びの後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児27人、保護者25人 (ボランテニア13人)	
7	12月6日	手遊び、お誕生日会、製作クリスマス飾り作り、サンタさんからプレゼントをもらった後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児37人、保護者33人 (ボランテニア11人)	
8	2月7日	手遊び、お誕生日会、おひなさま遊びをした後、手作りケーキでティータイム。 参加人数 幼児35人、保護者30人 (ボランテニア 11人)	
8	3月6日	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	



講座・学級学習プログラム

講座名	親子ヨガ		
対象	乳幼児親子		
募集人数	20組	参加人数	11組22人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児中は運動をするきっかけがない。</li> <li>・ヨガをしてお母さんの心をリフレッシュしてもらおう。</li> <li>・親子のコミュニケーションを深める。</li> </ul>		
学習期間	令和元年6月	回数	1回
学習場所	大集会室		
予算	総額：7,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円	決算 総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師 5,000円 その他事業費 0円	
講師	ヨガインストラクター 森下由美子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が集中できるよう、楽しめる雰囲気作りを心掛けた</li> <li>・参加者の状況に目配りし、声掛けを行った。</li> <li>・飽きてしまったお母さんに音の出ないおもちゃを用意した。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のコミュニケーションを取りながらヨガをすることができた。</li> <li>・今後もヨガに参加という声があがった。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	6月19日	親子でヨガを楽しむ。  募集人数 20組 参加人数 11組	森下さん	子どもと触れ合いながら、ヨガを楽しむ。

講座・学級学習プログラム

講座名	リズムベビーマッサージ		
対象	市内在住、生後2ヶ月から歩行前までの子とその保護者		
募集人数	10組20人	参加人数	9組18人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての育児は、母親が不安でゆとりがない。</li> <li>・月齢が近い他の参加者や講師と交流を深め、育児への不安や疑問を解消する。</li> <li>・親子で目線を合わせ、歌を聴きながら、沢山触れ合うことで、絆を深める。</li> </ul>		
学習期間	令和元年6月	回数	1回
学習場所	休養室2		
予算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 5,000円	決算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円
講師	NPO法人日本子ども教育センター リズムベビーマッサージ認定講師 柏崎真紀子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親が肩の力を抜いてリラックスしながら講師の話聞けるように、子どもの状況に目を配りながら、泣き出した時には一緒にあやすなど、サポート面を重視した。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な歌を口ずさみながら、スキンシップすることに親しめた。</li> <li>・講座後に他の参加者と情報交換をし、意義のある時間をごせた。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	6月21日	講師紹介 ・自己紹介 ・リズムベビーマッサージの説明 ・実践 参加人数 9組18人	柏崎さん	親子で目線を合わせ、歌を聴きながら、沢山触れ合うことで、絆を深める。

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月24日	「ハーバリウム教室」 好きな植物やパーツを選んで世界にひとつだけのハーバリウムを作りました。 募集人数 20人 参加人数 23人	秋葉さん	参加者同士の交流を図る。
2	8月1日	自己負担金 500円 「絵画教室」 2日間で全員がポスターを仕上げるこ とができた。 募集人数 15人 参加人数 14人	桜井先生	ポスター絵画の書き方、アイデアを学ぶ。
3	8月2日	「絵画教室」 2日間で全員がポスターを仕上げるこ とができた。 募集人数 15人 参加人数 13人	桜井先生	ポスター絵画の書き方、アイデアを学ぶ。
4	8月23日	「卓球で遊ぼう」 ラケットの持ち方、構え方、打ち方の 児童をした後、チームごとに対戦をし た。 募集人数 20人 参加人数 15人	大塚さん	参加者同士の交 流を図る。

講座・学級学習プログラム	
講座名	夏休みゴージャスチャレンジ
対象	市内小学生
募集人数	延べ70人
参加人数	延べ65人
講座・学級開設の課題と目標	
課題	・他学区、他学年と交流するきっかけがない。 ・集中できる環境が少ない。
目標	・友だちをつくる。 ・学ぶ楽しさを実感してもらおう。 ・自ら考え、作品を作り上げる喜びを知る。
学習期間	令和元年7月～8月
回数	4回
学習場所	集会室、大集会室
予算	総額： 70,942円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 30,000円 その他事業費 40,942円 総額： 42,026円 ※うち参加者負担金 500円×23人 内訳：講師料 22,648円 その他事業費 19,378円
講師	秋葉律子さん、元美術教師 桜井芳秋先生、大塚栄一さん
参加者等への指導・援助方法	・楽しい雰囲気に参加できるよう配慮する。
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	
備考	・参加者は、各自の目標を持ち集中して取り組むことができた。 ・班ごとに分けたことでより交流が図れた。 ・講師にアドバイスをもらい、自ら考え作品を作り上げる喜びを味わえた。

講座・学級学習プログラム

講座名	冬休み書道教室		
対象	市内小学3～6年生		
募集人数	10人	参加人数	10人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の冬休みの宿題でもある書き初めが自宅だと上手に書けない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道を基本から学び、書き初めを仕上げる。</li> <li>・集中力を高める。</li> </ul>		
学習期間	令和元年12月	回数	1回
学習場所	大集会室		
予算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳： 講師料 5,000円 その他事業費 0円	決算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 5,000円 その他事業費 0円
講師	成田貞子先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに書けるように各自筆の準備をしてきてもらうよう連絡をした。</li> <li>・講師に名前のお手本を書いてきてもらったので、名前の練習もできた。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中力がなくなり、飽きてしまう子もいたが、二時間後には全員、見違えるほどの作品が仕上がった。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	12月26日	学年ごとに分かかれ書き初めの練習をした。  応募人数 10人 参加人数 10人	成田先生	書道を基本から学ぶ。

講座・学級学習プログラム

講座名	子どもクッキング		
対象	市内小学生		
募集人数	15人	参加人数	6人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食への関心が薄れてきている。</li> <li>・共働きの家庭が多く、親子で料理をする機会が少ない。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学年の参加者と一緒に食事作りや準備を楽しむ。</li> <li>・自分たちで調理することにより、料理や栄養に対する関心を高める。</li> </ul>		
学習期間	令和2年1月	回数	1回
学習場所	調理室		
予算	総額：12,000円 ※うち参加者負担金：300円×15人 内訳：講師 7,000円 その他事業 5,000円	総額：10,581円 ※うち参加者負担金：300円×6人 内訳：講師料 0円 その他事業費 10,581円	決算
講師	児童厚生員		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士で交流を図ることができるよう声掛けをした。</li> <li>・手の空いている子がいないよう、声掛けしながら全員がバランス良く調理できるように配慮した。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で調理したことにより、苦みな食べ物食べられるようになった児童がいた。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	1月25日	マカロニグラタン、ポテトサラダ、イタリアンスープ、プリンアラモードを作って食べた。  参加人数 6人 自己負担金 300円	児童厚生員	他学年との交流を深める。

講座・学級学習プログラム

講座名	土器と古代	
対象	市内在住4年生以上の小学生	
募集人数	15人	参加人数 9人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古代の歴史に触れる機会があまりない。</li> <li>・ 物に満ち溢れた便利な社会のため、物の大切さがあまり理解されていない。</li> <li>・ 災害時などの対策のためにも、昨今において、古き時代の生活を見直す必要性がある。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古代歴史を知り、興味を持ってもらう。</li> <li>・ 古代人の生活の大変さを体験し、今の生活の便利さを認識してもらう。</li> </ul>	
学習期間	令和元年7月	回数 1回
学習場所	大集会室、集会室	
予算	総額： 15,000円 ※うち参加者負担金： 300円×15人 決算 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 10,000円	総額： 2,700円 ※うち参加者負担金： 300円×9人 内訳：講師料 0円 その他事業費 2,700円
講師	千葉県教育庁教育振興部文化財課普及管理班 宿城 高義さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳しい土器解説の後、本物の土器に触れさせる。</li> <li>・ 古代人が行っていた火起こし体験をさせ、その際バケツの水を用意するなど安全面には最大限留意する。</li> <li>・ 勾玉作りでは、一つ一つ順を追い、段階的にやってもらう。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土器解説を行い、本物の土器に触れもらい、古代歴史に興味を持ってもらえた。</li> <li>・ 火起こしを体験してもらい、古代人の生活の大変さが理解された。</li> <li>・ 苦勞して勾玉を作ることにより、物の大切さが理解された。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	1	月日	7月31日	講師	宿城さん	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古代歴史に興味を持ち学習に役立たせる。</li> <li>・ 古代人の生活の大変さを体験し、今の生活の便利さを認識してもらう。</li> <li>・ 素材から物を形にして、物のありがたさを実感してもらう。</li> </ul>
		学習主題・内容・方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土器解説を行い、本物の土器に触れてもらう。</li> <li>・ 古代人が行っていた火起こしを体験してもらう。</li> <li>・ 古代人が大切にしていた勾玉を作ってもらう。</li> </ul>				

講座・学級学習プログラム

講座名	チャレンジ登山	
対象	市内在住4年生以上の小学生	
募集人数	10人	参加人数 5人
講座・学級開設の課題と目標	<p>子どもたちは、与えられることが多く、自ら考え行動する機会があまりない。</p> <p>子どもたちは、登山など自然に触れる機会があまりない。</p> <p>自ら考え行動することにより、子どもたちにやる気、喜び、達成感を感じてもらい、子どもたちの人間性を高める。</p>	
学習期間	令和元年9月	回数 3回
学習場所	集会室	
予算	総額： 82,134円 ※うち参加者負担金： 1,000円×10人 決算 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 72,134円	総額： 52,446円 ※うち参加者負担金： 1,000円×5人 内訳：講師料10,000円 その他事業費42,446円
講師	佐山さん、西塚さん	
参加者等への指導・援助方法	<p>子どもたちにどの山に登るか、何を準備するかなどを考え、決めてもらう。</p> <p>現実的に無理なものははっきり伝え、それがなぜ無理なのかを理解してもらう。</p> <p>最終的には安全性が優先されるので、子どもたちに無理のない選択をさせるよう指導する。</p>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>子どもたちが自主的に計画して登山にチャレンジすることにより、子どもたちに変化が感じられた。</p>	
備考		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月31日	<p>どの山に登るのかを考え、決めてもらう。</p> <p>安全に登るため何を準備したらよいか考え、決めてもらう。</p> <p>当日のリーダー、サブリーダーを決め、子どもたちに役割を持たせる。</p> <p>参加人数 5人</p>	佐山さん 西塚さん	<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日帰りでの程度の山に登れるのかを理解してもらう。</li> <li>安全に山に登るには何を準備したらよいかを理解してもらう。</li> <li>子どもたちに責任感を持たせる。</li> </ul>
2	9月14日	<p>どのように山に登るのか（コースプラン）を考え、決めてもらう。</p> <p>一般的な登山計画を立てる。</p> <p>具体的に何を持っていくのかを考え、決めてもらう。</p> <p>参加人数 5人</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に計画を立てることにより、当日の行動が具体化され、子どもたちに責任感、やる気、楽しみを持たせる。</li> </ul>
3	9月28日	<p>午前7時富士センター集合・出発～目的地 高尾山</p> <p>午後6時頃の解散</p> <p>参加人数 5人</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然体験を通じて、いろいろなことを学んでもらう。</li> </ul>

講座・学級学習プログラム

講座名	小学生将棋教室	
対象	市内在住小学生	
募集人数	10人	参加人数 10人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋本来の楽しさを体験できていない。</li> <li>・身近にやさしく指導できる人があまりいない。</li> <li>・将棋よりゲーム機の方に関心が向いてしまう傾向にある。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが実際に将棋を指せるようになる。</li> <li>・子どもたちに将棋の楽しさを実感してもらおう。</li> <li>・将棋を通じて人間性を成長させる。</li> <li>・将棋を指すことで、考える習慣を身につける。</li> </ul>	
学習期間	平成31年4月	回数 3回
学習場所	老人憩いの家	
予算	総額： 12,617円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料11,448円 その他事業費 1,169円	総額： 12,617円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料11,448円 その他事業費 1,169円
講師	豊田さん、白井さん、公民館職員	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋のルールを教えて、将棋を指せるようにする。(戦法も学ぶ)</li> <li>・将棋の基本を教えて、実践で基本的な指し方ができるように指導する。</li> <li>・勝つためのコツを覚える。(基本手筋・詰将棋)</li> <li>・実際に将棋を指して実践感覚をつかむ。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に将棋が指せるようになった。</li> <li>・将棋の楽しさを理解し、興味をもってもらえた。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者10人を棋力別に3つのグループに分けて指導した。</li> <li>・最初に将棋のルールを教え、将棋を指せるようにした。</li> <li>・なかなか集中できない子もいたので、適宜、指導方法を変え、子ども同士の間で対局や景品を与えたりして工夫した。</li> </ul> 参加人数 9人	豊田さん 白井さん 公民館職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋の基本ルールを覚え、実際に体験することにより、将棋の楽しさ、深さを実感してもらおう。</li> </ul>
2	4月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋をより楽しんでもらえるよう、基本手筋や詰将棋を教え、将棋の面白さや奥深さを体験してもらった。</li> <li>・一手一手の意味を理解してもらうため、しっかりと考えてもらい、最後に正解手を教えて、その意味が理解できるように指導した。</li> </ul> 参加人数 9人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋にもいろいろな楽しみ方があり、それが棋力向上につながることを理解してもらおう。</li> </ul>
3	4月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝つためにはいろいろな戦術が必要のため、戦法や効率的な戦い方の方法を教えた。</li> <li>・参加者同士で実際に将棋を指して、実践感覚を身に付けさせた。</li> </ul> 参加人数 10人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋に勝つための戦術を覚えてもらおう。</li> </ul>



講座・学級学習プログラム

講座名	囲基体験教室	
対象	市内在住小学生以上	
募集人数	10人	参加人数 4人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲基のルールが難しく、なじみが薄い、身近に指導してくれる人があまりいない。</li> <li>・ 囲基を学ぶより、ゲームの方に興味が向いてしまう。</li> <li>・ 囲基の楽しさを体験できていない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者が実際に囲基を打てるようになる。</li> <li>・ 参加者に囲基の楽しさを実感してもらおう。</li> <li>・ 囲基を通して仲間づくりを推進する。</li> </ul>	
学習期間	令和2年1月	回数 3回
学習場所	老人憩いの家	
予算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料10,000円 その他事業費 0円	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料10,000円 その他事業費 0円
講師	富士囲基クラブ	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲基の基本ルールを指導する。</li> <li>・ 礼儀作法を含めた対局の流れをつかんでもらおう。</li> <li>・ より多く実践を積み重ねる。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲基を体験してもらい、実際に囲基が打てるようになった。</li> <li>・ 囲基の楽しさを実感してもらい、囲基に興味をもってもらえた。</li> <li>・ 参加者が今後も囲基を続けていくことから、仲間づくりができた。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	1月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者から囲基の基本・ルールを説明してもらおう。</li> <li>・ 指導者から実際の囲基対局の流れや礼儀作法を覚えてもらおう。</li> <li>・ 指導により、実際に囲基を打てるようにする。</li> </ul> 参加人数 4人	富士囲基クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲基の基本ルールを覚え、実際に囲基を体験することにより、囲基の楽しさ、深さを知ってもらおう。</li> </ul>
2	1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践指導により、囲基の楽しさを理解してもらおう。</li> <li>・ 実戦で良い手が発見できたときは褒めてもらおう。</li> </ul> 参加人数 4人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に囲基を打つことにより、実践感覚を身に付けると共に、やる気を起こさせる。</li> </ul>
3	1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践指導により、囲基の楽しさを理解してもらおう。</li> <li>・ 悔しい思いを体験させ、さらには上を目指してもらおう。</li> <li>・ 囲基を通じて、仲間づくりができるようにする。</li> </ul> 参加人数 4人		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲基の厳しさを理解し、さらには上を目指してもらおう。</li> <li>・ 囲基を通じて仲間づくりをする。</li> </ul>

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月7日	<p>・開校式。大山中学校ボランティア部、青少年相談員とのレク（アイスブレイク、ゲーム等）            ・食材の買い出し。（4班に分れ、ボランティア1名ずつ）            ・夕食準備、夕食、片付け            ・もらい風呂            ・宿題、班長会議            ・就寝</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームを通して打ち解ける。</li> <li>・センターは、他の人も使うので、迷惑にならないようにする。</li> <li>・ボランティアの人と顔見知りになる。</li> <li>・あいさつをする。</li> <li>・各担当を決めることで責任感を持たせる。</li> </ul>
2	7月8日 9日	<p>・起床            ・朝食準備、部屋・玄関・トイレ掃除#            ・朝食、片付け#            ・登校#            ・下校。宿題#            ・夕食準備、片付け#            ・もらい風呂#            ・班長会議#            ・就寝</p>		
3	7月10日	<p>・宿題、班長会議#            ・就寝#            ・下校後、閉校式            ・解散</p>		

講座・学級学習プログラム																	
講座名	第14回 通学合宿																
対象	第三小学校4、5、6年生																
募集人数	20人																
参加人数	20人																
講座・学級開設の課題と目標																	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達と地域住民とのつながりが少ない。</li> <li>・地域全体で子ども達を育てるという意識が低い。</li> </ul>																
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室では、体験できない事を学ぶ。</li> <li>・友達に対する思いやり、家族のありがたみを感じる。</li> <li>・自分で考え、自分で行動する姿勢を身に付ける。</li> <li>・地域の人達の愛情を感じ取る。</li> </ul>																
学習期間	令和元年7月																
学習場所	大集会室、調理室、休養室																
回数	1回																
予算	<table border="1"> <tr> <td>総額：</td> <td>42,470円</td> <td>総額：</td> <td>42,470円</td> </tr> <tr> <td>※うち参加者負担金：</td> <td>0円</td> <td>※うち参加者負担金：</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>内訳：講師料</td> <td>0円</td> <td>内訳：講師料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>その他事業費</td> <td>42,470円</td> <td>その他事業</td> <td>42,470円</td> </tr> </table>	総額：	42,470円	総額：	42,470円	※うち参加者負担金：	0円	※うち参加者負担金：	0円	内訳：講師料	0円	内訳：講師料	0円	その他事業費	42,470円	その他事業	42,470円
総額：	42,470円	総額：	42,470円														
※うち参加者負担金：	0円	※うち参加者負担金：	0円														
内訳：講師料	0円	内訳：講師料	0円														
その他事業費	42,470円	その他事業	42,470円														
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が自分で考え、悩み、相談し、行動ができるよう大人は見守りをする。</li> <li>・挨拶の指導。</li> </ul>																
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事作りや掃除の実践を通じ家族や仲間の大切さがわかった。</li> <li>・もらい風呂や食事の買い物を通じ地域の人との交流ができた。</li> <li>・上級学年の児童は下の学年の児童を気遣い、思いやる様子が見えた。</li> </ul>																
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年相談員を中心に、地域ボランティア、大山口中学ボランティア部の方々に多大なるご協力をいただきました。</li> <li>・毎回恒例の関東第一高等学校にて大浴場を貸していただきました。</li> </ul>																

講座・学級学習プログラム

講座名	認知症予防ケア講座		
対象	市内在住者		
募集人数	20人	参加人数	17人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の発症や健康への不安を抱く高齢者が増えている。</li> <li>・認知症にならない身体作りや運動方法を学ぶことで事前に予防する。</li> <li>・予防方法や運動方法を自宅でも続けられるようにする。</li> </ul>		
学習期間	平成31年4月～令和元年11月	回数	7回
学習場所	集会所		
予算	総額： 45,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料39,948円 その他事業費 5,052円	総額： 42,128円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料39,948円 その他事業費 2,180円	決算
講師	しろい富士整形外科 及川英雄先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症自己診断の実施、認知症の正しい知識を学ぶ。</li> <li>・普段からの意識を持ったうえで行う運動及び体作りを学ぶ。</li> <li>・具体的運動の実施により継続的に行える運動を身に着ける。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に講座を受講することにより、運動方法や効果について自分で確認することができ。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	4月13日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 17人	及川先生	認知症の正しい理解と予防のための生活スタイルを認識すること。自宅でもできる種々の運動を覚える。
2	5月11日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 14人		
3	6月8日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 12人		
4	7月13日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 13人		
5	8月10日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 8人		
6	9月14日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 10人		
7	11月9日	認知症予防のための運動の実施 参加人数 11人		

講座・学級学習プログラム

講座名	ランチョクッキング		
対象	市内在住の成人		
募集人数	延べ44人	参加人数	延べ44人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でパンを作る機会がない。</li> <li>・2020年に行われるオリンピックに向け、多国籍な国際料理を学びたい。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくパン作りをしながら交流を図る。</li> <li>・外国の食文化を学び、学習のきっかけを作る。</li> </ul>		
学習期間	令和元年5月～7月	回数	3回
学習場所	調理室		
予算	総額：51,202円 ※うち参加者負担金：600円×44人 内訳：講師料17,160円 その他事業費34,042円	決算	総額：51,202円 ※うち参加者負担金：600円×44人 内訳：講師料17,160円 その他事業費34,042円
講師	金子智子先生、菅野真優先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士で交流を図ることができるよう声掛けや目配りをした。</li> <li>・参加者には難しい作業があったので援助した。</li> <li>・外国の食文化に触れることで、日本とは違った食材、調味料などを学び、他国へ興味を持つきっかけ作りをした。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンを作るのが初めてという方が多く、成形し、焼きあがる工程を楽しみながら作ることができた。</li> <li>・自宅ではなかなか作ることのない外国料理を作ることで、色々な国の料理に興味を持っていただけた。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月10日	<b>【パン教室】</b> ・シナモンロールパン、デトックススープを作る。 ・実食 ・後片付け 募集人数 12人 参加人数 11人 自己負担金6000円	金子先生	学習のねらい ・料理の楽しさを知る。 ・地域交流を図る。
2	6月14日	<b>【タイ料理】</b> ・カオマンガイ、ソムナム、スープ、タピオカココナツミルクを作る。 ・実食 ・後片付け 募集人数 16人 参加人数 16人 自己負担金6000円	菅野先生	
3	7月12日	<b>【ベトナム料理】</b> ・牛肉のフオー、生春巻き、チェー、えびせんを作る。 ・実食 ・後片付け 募集人数 16人 参加人数 16人 自己負担金6000円	菅野先生	

講座・学級学習プログラム

講座名	終活セミナー	
対象	市内在住成人	
募集人数	30人	参加人数 27人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、話題にもなっている「終活」という老後を前向きに考え準備していく術を学ぶ。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「終活」をしていくことで、自分の気持ちの整理をする。</li> <li>・ご家族や大切な人への負担を軽くすることができる。(もしもの際の判断材料に)</li> <li>・これからも前向きに過ごしていこうという気持ちを持つ。</li> </ul>	
学習期間	令和元年5月	回数 1回
学習場所	集会所	
予算	総額： 30,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 20,000円 その他事業費 10,000円	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
講師	コープ共済 コプセ	
参加者等への指導・援助方法	ご家族や大切な人へ自分の気持ちを伝えるエンディングノートというものの書き方や、内容について指導していく。	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を通して、「終活」について具体的に考えるきっかけを与えることが出来た。</li> <li>・「終活」にも、様々な活動があるので、他にも内容を深めて講座をシリーズ化していきたい。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	1	月日	5月19日	学習主題・内容・方法等	「終活」の活動であるエンディングノートの書き方や、ポイントを学ぶ。	講師	コープ共済 コプセ	学習のねらい	「終活」をしていくことで、自分の気持ちの整理をする。
----	---	----	-------	-------------	-----------------------------------	----	--------------	--------	----------------------------

講座・学級学習プログラム

講座名	初心者ウクレレ教室		
対象	一般成人		
募集人数	10人	参加人数	13人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウクレレに挑戦してみたい人もいるが、なかなか触れる機会がない。</li> <li>ウクレレを経験する事により、楽器に触れる楽しさや興味をもってもらう。</li> <li>共通の趣味を通して交流を図る。</li> </ul>		
学習期間	令和元年8月	回数	1回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 20,000円 ※うち参加者負担金： 500円×10人 内訳：講師料 6,080円 その他事業費 13,920円	決算 総額： 10,170円 ※うち参加者負担金： 500円×13人 内訳：講師料 6,080円 その他事業費 4,090円	
講師	ギターサークル「スパイス」 井上栄次先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気に参加できるようにする。</li> <li>講座終了後に、サークル化できるよう案内した。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの参加者がウクレレを演奏する事の楽しさを実感し、今後も趣味として続けてみようという興味を持っていただけた。</li> <li>講座開催後、サークル化につながり、共通の趣味として交流を深めることが出来た。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	8月21日	ウクレレの持ち方、4つの基本コードを学び、簡単な曲を一曲弾けるようにした。 参加人数 13人 自己負担金 500円	井上先生	ウクレレの基本的なコードを学ぶ。音楽の楽しさに触れる。

講座・学級学習プログラム

講座名	初心者茶道教室		
対象	市内在住一般		
募集人数	10人	参加人数	7人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化である茶道に触れる機会が少ない。</li> <li>・茶室、水屋、置き炬等の設備の利用が少ない。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道の楽しさ、奥深さを実感してもらう。</li> <li>・参加者間で、交流を図る。</li> </ul>		
学習期間	令和元年9月～10月	回数	6回
学習場所	休養室2		
予算	総額：72,000円 ※うち参加者負担金：3,000円×10人 決算 内訳：講師料42,000円 その他事業費30,000円	総額：68,257円 ※うち参加者負担金：3,000円×7人 決算 内訳：講師料42,000円 その他事業費26,257円	
講師	裏千家【茶名】篠原 宗則様		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道の基本、作法の指導。</li> <li>・礼儀作法を含めた、お茶の点て方、頂き方を習得してもらう。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間の中で盆略点前（略式）の作法の習得。お茶を点て飲む事が出来た。</li> <li>・床の間の設え、掛け軸等、茶道を通じて伝統に触れ、受講者間での話題の一つとなった。</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル化の希望が多い講座でしたが、講座の参加費と同等での運営は不可能で今回は見送る結果となった。</li> </ul>		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	9月5日	床の間の見かたと説明 割稽古 ・お辞儀の仕方 ・立ち方 ・櫃の開け閉め ・帛紗の扱い ・帛紗捌き ・茶巾の扱い ・茶碗の拭き方 お茶の頂き方 参加人数 7人	篠原先生	・お稽古を反復継続しながら、茶道の楽しさや奥深さを実感してもらう。 ・週1回、全6回の茶道体験を通じて受講者間で交流を図る。
2	9月12日	床の間の説明 割稽古 ・1回目の復習 ・棗、茶筒の拭き方 ・茶筌通しの扱い ・茶碗の扱い方 盆略点前の説明 お茶と生菓子の頂き方 参加人数 7人		
3	9月19日	床の間の説明 割稽古の復習 二班に分かれ盆略点前のお稽古 干菓子の頂き方 参加人数 6人		

講座・学級学習プログラム

講座名	初心者エコクラフト教室	
対象	市内在住一般	
募集人数	10人	参加人数 10人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、大人に向けた手芸講座を開催していない。</li> <li>・手軽に始められる点で根強い人気のエコクラフトを素材とし、基本を習得する。</li> </ul>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間の中で、15cm×12cmのカゴ作りに取り組み達成感を味わう。</li> <li>・手芸の講座は年代に関係なく参加でき、趣味を同じくする仲間作りも可能である。</li> </ul>	
学習期間	令和元年11月	回数 3回
学習場所	集会室	
予算	総額： 40,000円 ※うち参加者負担金： 500円×10人 決算 内訳：講師料20,000円 その他事業費20,000円	総額： 19,038円 ※うち参加者負担金： 500円×10人 内訳：講師料 15,000円 その他事業費 4,038円
講師	白坂 信子さん 茂木 和江さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士が励まし合える雰囲気作りと、最後まで仕上げる事ができるようにサポートする。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者むけの課題を提案して頂いたが、第1回目は戸惑う事が多く不安になる受講者もいましたが、講師やスタッフでサポートした結果、2回目からは受講者間で手助けをして、和気あいあいとした雰囲気の中、作品作りに役頭できた。</li> <li>・自宅での作業が必要な方もいて、時間超過も発生しましたが、完成時は達成感も味わって頂いたと思う。</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終回、不参加者が1名。強い痛みでの説明と不明な点は講座担当者がフォロー。後日、電話での問い合わせあり、説明しご納得頂き、完成となった。</li> <li>・富士センターの特徴としてクラフトバンドを3色から選べるようにした。</li> </ul>	

4	9月26日	床の間の説明 受講者に亭主と半東さん、正客と次客を割り当て、盆略点前のお稽古 参加人数 7人
5	10月 3日	床の間の説明 前回（第4回）同様、盆略点前のお稽古 受講者からの希望で、袱紗の扱 いの復習 参加人数 6人
6	10月10日 最終回	床の間の説明 お茶会を見立てて、受講者各自が盆略点前を披露 講師のお点前を頂きながら、茶話会后、終了となりました。 参加人数 7人



学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPバンドを使って、必要な長さ、本数にエコクラフトを割く。</li> <li>型紙にあわせて、カゴの底作り。</li> </ul>	白坂さん 茂木さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のねらい</li> <li>応用できる構成となつている為、基本をしっかりと習得する。</li> <li>受講者間での交流を図りながら、作品の完成を目指す。</li> </ul>
2	11月12日	参加人数 10人 側面の立ち上げ部分を編みあげる。時間内に終わらない受講者は自宅での作業となる。		
3	11月19日	参加人数 9人 飾り編み部分と、取っ手の取り付け。取っ手に飾り編みを施し完成とする。		

講座・学級学習プログラム

講座名	そば打ち教室	
対象	市内在住者	
募集人数	15人	参加人数 15人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>そば打ちに興味はあるが、具体的に取り組む環境が無い。</li> <li>そば打ちを自ら体験することにより、実生活に取り入れられるきっかけを作る。</li> <li>市内の住民が集うことにより、お互いの交流を推進する。</li> </ul>	
学習期間	令和元年12月	回数 1回
学習場所	大集会室、調理室、休養室2	
予算	総額： 30,000円 ※うち参加者負担金： 800円×15人 決算 内訳：講師料10,000円 その他事業費20,000円	総額： 22,000円 ※うち参加者負担金： 800円×15人 決算 内訳：講師料10,000円 その他事業費12,000円
講師	夢ふれあいサークル	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に講師によるそば打ちの模範実技を実施。</li> <li>1グループ3人ずつで5グループをつくり、各グループに講師を配置。</li> <li>打ち終わったそばの茹で方をグループ単位で実施。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年参加者からの要請が多く、今回で4回目の実施となった。初めての方やリピーターが混じって真剣に手順や注意事項を聞き、今日習ったことを是非自宅でやりたいとの希望を全員が持ち、集中していた。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	1	12月1日	<p>学習主題・内容・方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そば打ちにあたって全般の注意と流れの説明</li> <li>・「夢ふれあいサークル」講師による模範実技</li> <li>・各テーブル3人で、5つのグループに分れ、講師が付き実技を説明。</li> <li>・そば打ちが完了した後、調理室へ移動し「そば茹で」を実習。</li> <li>・自分たちで打ったそばを皆で食し感想や意見を述べ、疑問点を講に質問。</li> </ul>	講師 夢ふれあいサークル	学習のねらい 「そば打ち」を体験することにより、他の参加者との交流をはかる。作業に集中することにより精神的な満足感を楽しみながら得る。
----	---	-------	--	-----------------	--

講座・学級学習プログラム

講座名	門松づくり教室	
対象	市内在住成人	
募集人数	10人	参加人数 7人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な門松を飾る家庭が少なくなっている。</li> <li>・白井市在住の農家の方を講師に招き、昔から伝わる方法で門松を作ることによってその技術を学び市民同士の交流を図る。</li> </ul>	
学習期間	令和元年12月	回数 1回
学習場所	大集会室	
予算	<p>総額： 24,960円</p> <p>※うち参加者負担金： 800円×10人</p> <p>内訳：講師料 5,952円</p> <p>その他事業費 19,008円</p>	<p>総額： 24,960円</p> <p>※うち参加者負担金： 800円×7人</p> <p>内訳：講師料 5,952円</p> <p>その他事業費 19,008円</p>
講師	谷嶋和幸さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の実演後、各自で門松を作成。作業を通じその都度疑問点を質問。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で伝わる作り方で門松を手作業で作ることにより、参加者各自がお正月に飾る門松（1対）を完成。作成の過程で参加者同士の交流を図ることができた。</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の空き缶は給食センターより、竹は講師よりそして稲藁と砂は別途提供頂いた。</li> </ul>	

学習報告

No	1	12月15日	学習主題・内容・方法等 全て手作りにより門松(一対)を作成する。	講師 谷嶋さん	学習のねらい ・伝統の楽しさや意義を実践を通じて体験する。
----	---	--------	-------------------------------------	------------	----------------------------------

講座・学級学習プログラム

講座名	健康スポーツ吹き矢体験教室	
対象	市内在住者	
募集人数	10人	参加人数 10人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き矢を体験できる機会がなかなかない。</li> </ul>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい腹式呼吸をすることにより体の内側の筋肉を鍛え体力を維持する。</li> <li>・ゲームを楽しむ感覚で集中力や精神力を養い、脳の老化を予防する。</li> </ul>	
学習期間	令和2年1月	回数 1回
学習場所	大集会室	
予算	総額： 13,300円 ※うち参加者負担金： 300円×10人 決算 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 8,300円	総額： 13,300円 ※うち参加者負担金： 300円×10人 決算 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 8,300円
講師	フーケクラブ	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「吹き矢」というスポーツを通して基本となる腹式呼吸法を正しく会得する。</li> <li>・「的」を狙う集中力を鍛える。</li> <li>・「吹き矢」を通じ運動の礼儀を身に着ける。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者でも短時間で要領をマスターし、その結果次第に矢が的に当たるようになり楽しみながら集中力が鍛えられた。</li> </ul>	
備考		

学習報告

No	1	1月17日	学習主題・内容・方法等 フークラブの皆さんが講師となつて 予め準備された吹き矢の筒と矢を使 い、一連の決められた動作と呼吸法 で5メートル離れた「的」に向かい 勢いよく吹き矢を放つ。 1人3本の矢を続いて放ち、「的」に 当たった箇所で点数をつける。	講師 フークラブ の皆さん	学習のねらい ・ゲームで精神力と集中 力を向上させ、「脳の 老化防止と認知症対 策」に役立たせる。
----	---	-------	---	---------------------	---

講座・学級学習プログラム

講座名	第2回しろい楽トレ体操教室	
対象	市内在住65歳以上	
募集人数	25人	参加人数 25人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に伴って起こる足腰や膝の痛みを予防する方法を学習する機会がない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防を目的とした、バランス、筋力アップの体操として考案された「白井なし坊体操」を、高齢者が楽しみながら簡単に続けられる「しろい楽トレ体操教室」として市民（主に高齢者）に周知していく。</li> <li>・高齢者が自主的に継続運営出来る教室にしていく。</li> </ul>	
学習期間	令和元年9月～令和2年2月	回数 23回
学習場所	集会室・視聴覚室	
予算	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
講師	保健師	
備考	参加者等への指導・援助方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が対象となる為、決して無理せず楽しみながら継続できる活動内容とする。</li> <li>・一人で参加の方には、積極的に声かけを行う。</li> </ul> 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の3カ月は、高齢者福祉課の指導で実施。</li> <li>参加メンバーが中心となり毎週火曜日の午前中の1時間、全員の歌声にあわせて筋力やバランス能力を高める体操を実施し、筋力の増進、維持をはかる。</li> <li>・メンバーの極端な脱落もなくチーム内で協力しあい継続できた。</li> </ul> 8月27日高齢者福祉課の指導のもと、富士センター集会室で事前説明会を開催。 ・準備から後片付けを交代制でしようグループ分けをし、協力しながら実施した。 ・学習期間満了後は、憩いの家を利用して参加者が自主的に継続運営する。	

学習報告

No	月日	学習主体・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	9月3日	体力測定を実施 参加人数 25人	保健師	事業のねらい 歌を歌いながら体 操を行う為、楽しく リラックスして体 を動かす事ができ、 自然に筋力を増進 する。
2	9月10日	椅子に座り、掲示された歌詞を 見ながら歌を歌い、各部の筋力 体操を行う。 参加人数 24人		
3	9月17日	参加人数 22人		
4	9月24日	参加人数 25人		
5	10月1日	参加人数 25人		
6	10月8日	参加人数 22人		
7	10月15日	参加人数 22人		
8	10月29日	参加人数 22人		
9	11月5日	参加人数 19人		
10	11月12日	参加人数 22人		
11	11月19日	参加人数 17人		
12	11月26日	体力測定を実施 参加人数 26人		
13	12月3日	参加人数 25人		
14	12月10日	参加人数 23人		
17	1月7日	参加人数 24人		

18	1月14日	参加人数 22人		
19	1月21日	参加人数 23人		
20	1月28日	参加人数 24人		
21	2月4日	参加人数 24人		
22	2月18日	参加人数 22人		
23	2月25日	参加人数 24人		

講座・学級学習プログラム

事業名	普通救命講習		
対象	市内在住者		
募集人数	30人	参加人数	7人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・突発的な事故への対応及び手順の習得が必要である。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士センター等の施設に備えられている「AED」の正しい操作方法を学習し、迅速な初期対応を可能にする。</li> <li>・大切な人や家族の命を守る知識とスキルを習得する。</li> </ul>		
期間	令和2年1月	回数	1回
場所	富士センター大集会室		
予算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円	決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
講師	西白井消防署救急隊員		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西白井消防署の救急隊員による指導で、胸骨圧迫及びAEDを使った心肺蘇生を参加者全員に実際の繰り返し体験により身につけさせる。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDを含めた救急時の対応を見学するだけでなく、実際に何度も体験することにより緊急時の対応が可能となり、知識だけでなく体で覚えることができた。</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座修了者には消防署よりカード式の「救命講習修了証」を発行。</li> </ul>		

学習報告

No	1	月日	1月19日	事業内容・方法等	「AED」を使った心肺蘇生法や救急時の対応法を基礎から学ぶことにより、一刻を争う初期対応ができるよう実践的な手法を学習した。	講師	西白井消防署救急隊員	事業のねらい	・緊急事態に即時に対応できる手法を身に付ける。 ・周りにいる人に呼び掛けることの大切さを体験してもらう。
----	---	----	-------	----------	--	----	------------	--------	---

講座・学級学習プログラム

講座名	男性料理教室	
対象	一般成人男性	
募集人数	16人	参加人数 7人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から料理をする男性が少ない。</li> <li>・地域社会に気軽に男性が参加する場所が少ない。</li> </ul>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭料理を作れるようにする。</li> <li>・出来上がった料理を楽しみながら、参加者同士の交流を図る。</li> </ul>	
学習期間	令和2年2月	回数 1回
学習場所	視聴覚室	
予算	総額： 20,000円 ※うち参加者負担金： 500円×16人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 15,000円	総額： 4,866円 ※うち参加者負担金： 500円×8人 内訳：講師料 1,587円 その他事業費 3,279円
講師	市役所健康課職員、推進員	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に気を付ける。</li> <li>・和やかな楽しい雰囲気づくりを心がける。</li> </ul>	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数のグループを作って作業したことで、各人が全ての調理過程に携わることができ、家庭でも作ってみようという意欲が生まれた。</li> <li>・初対面の方でも、調理や美食を通して多くの交流を図ることができた。</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日キャンセルが1人いた。</li> </ul>	

学習報告

No	1	月日	2月5日	学習主題・内容・方法等	推進員による講話 ・調理室の使い方の説明 ・作り方の説明 ・調理実践 メニュー：カリッと衣の鶏ソテー、 緑黄色野菜のホットマリネ、とろろ昆布の簡単スープ、ほうじ茶ゼリー 参加人数 7人 自己負担金 500円	講師	健康課 推進員	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士がつながりを持つきっかけを作る。</li> <li>・男性が料理をするという事を楽しんでもらう。</li> </ul>
----	---	----	------	-------------	--	----	------------	--------	--

講座・学級学習プログラム

講座名	家庭菜園・園芸教室	
対象	市内在住者	延べ20人
募集人数	20人	参加人数
講座・学級開設の課題と目標	<p>・地元で家庭菜園を行っているが自己流の為、正しい知識を得たいという要望が多い。</p> <p>・寄せ植えをやりたくても身近に教えてもらえる機会が無い。</p> <p>・日常の家庭菜園を営む中で、栽培上の正しい知識を身につける。</p> <p>・初心者にもわかりやすく基礎からの寄せ植えを学ぶ。</p>	
学習期間	令和元年9月、令和2年2月	回数 2回
学習場所	集会室	
予算	総額： 24,145円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料10,000円 その他事業費14,145円	総額： 24,145円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 14,145円
講師	田中館清子さん、海老原さん	
参加者等への指導・援助方法	<p>・講師が準備した資料に沿って春・夏野菜作りのポイントをわかりやすく説明。</p> <p>・講師が実践している有機肥料を使った「安心安全新鮮」野菜作りの具体的手法の説明。</p> <p>・初心者にもわかりやすく寄せ植えに適した植物選びから鉢の選び方、そして寄せ植えの基礎を順に説明。</p>	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>・家庭菜園の初心者及び経験者である参加者の具体的経験に基づいた問題点に対し詳しくわかりやすい説明で、納得のいく正しい知識を学ぶことができた。</p> <p>・寄せ植えは殆どの参加者が初心者であったが、季節に合った植物の選び方、鉢の選び方、配置方法、鉢植え後の管理方法等を実際に見ながら体得することができた。</p>	
備考	<p>・参加者の前で実演された3鉢の寄せ植え作品は富士センターに展示させて頂いた。</p>	

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	9月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>花瓶への生け花とは異なり、種類の異なる季節の植物を鉢の中で配置を考えながら根ごと植える。</li> <li>鉢に植えた植物の成長とのバランスを考慮する。</li> <li>寄せ植え完成後の育て方の注意事項。</li> </ul> 参加人数 8人	田中館さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物を単に鉢に植えるだけでなく植物の成長に伴い変化する全体のバランスの整え方を学ぶ。</li> <li>本日の講座を参考に、家で寄せ植えを楽しんでもらう。</li> </ul>
2	2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>春、夏野菜の作り方のポイントとして、以下の項目についての説明。</li> <li>・土づくり</li> <li>・種まきと、苗づくり</li> <li>・夏野菜の特徴</li> <li>・家庭菜園経験者である参加者からの各種質問に解答し、更に実践へのアドバイスを行った。</li> </ul> 参加人数 12人	海老原さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味と健康のため 菜園について正しく学習し、知識を身につける。</li> <li>・地元で環境を同じくする参加者同士の交流を推進する。</li> </ul>



講座・学級学習プログラム

講座名	世代間交流		
対象	市内在住者		
募集人数	自由参加	参加人数	56人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・日常生活の中で、若年世代と高齢者世代の接点や交流の機会が少なくなっている。</p> <p>・遊びを通して、大人と子ども達の交流を図る事により地域内における交流の機会を作る。</p>		
学習期間	令和元年11月	回数	1回
学習場所	大集会室、休養室2		
予算	総額： 70,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 70,000円	決算 総額： 58,634円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 58,634円	
参加者等への指導・援助方法	<p>・白井第三小学校や白井富士地区の各自治会へ事前に回覧でPRを行った。</p> <p>・職員が事前に体験し、ゲームのルールを把握しておいた。</p> <p>・対戦チームを考慮し、子どもと大人が混じってゲームを楽しめるようにした。</p>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>・子どもから大人まで一体となってボッチャやフロアカーリングを大いに楽しむことができた。</p> <p>・毎回違うチームと対戦することで、より多くの人と交流出来た。</p> <p>・囲碁・将棋・オセロでは、小学生と高校生が対戦するなど普段では体験できない世代との交流がみられた。</p> <p>・競技を楽しんだ後、茶話会を開くことでより交流が深まった。</p>		
備考	<p>・白井第三小学校や白井富士地区の各自治会へ事前に回覧でPRを行った。</p> <p>・職員が事前に体験し、ゲームのルールを把握しておいた。</p>		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	学習のねらい
1	11月23日	<p>・1チーム3人からなるチームを12チーム作り、チーム対抗で順位を競う。</p> <p>・対戦するチームはランダムに、ボッチャ2試合、フロアカーリング1試合の計3試合を行い、勝ち数で順位を決定。勝ち数が同じの場合は得点の合計で決めた。</p> <p>・ゲームの後は、全員でお茶を飲みながら交流を図った。</p> <p>参加人数 56人</p>	<p>世代間共通の遊びを通して、異なる世代と交流を図る。</p>

講座・学級学習プログラム

講座名	富士センター音楽祭		
対象	一般		
募集人数	自由参加	参加人数	338人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・演奏される方が、たくさんの人を集めて発表する場があまりない。</p> <p>・地域に音楽を通じての地域交流、世代間交流の機会があまりない。</p> <p>・演奏される方の発表の場を持ち、たくさんの人に集まってもらう。</p> <p>・音楽を通じて、地域交流、世代間交流を図る。</p>		
学習期間	令和元年7月	回数	1回
学習場所	大集会室、視聴覚室、休養室2		
予算	総額： 80,865円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料45,320円 その他事業費35,545円	決算	総額： 80,865円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料45,320円 その他事業費35,545円
参加者等への指導・援助方法	<p>・演奏者と事前打ち合わせを密に行い、当日支障のないよう配慮する。</p> <p>・来場者に親しんでもらえるよう、来場者の年齢層に合わせた曲目や演出を考える。</p> <p>・地域の代表として、第三小学校合唱部、大山中学校吹奏楽部に演奏を行ってもらう。</p> <p>・次世代育成のため、当日の司会進行を富士センターサークル「英語劇教室」の高校生にやってもらう。</p>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>・演奏や会場運営などがスムーズに行われた。</p> <p>・第三小学校合唱部、大山口中学校吹奏楽部などの参加により、たくさんの人に集まってもらい、地域交流、世代間交流ができた。</p>		
備考	<p>・当日出演者のキャンセルがあった、全体の出演が前倒しになった。今後、キャンセル対応にも気を配ること。</p>		

学習報告

No	7月21日	学習主題・内容・方法等	学習のねらい
1		富士センター音楽祭 12時開場 12時30分開演～16時30分終演 ・「合唱」白井第三小学校合唱部 ・「三味線」廣瀬福四郎さん ・「サックス」濱川&金田さん ・「英語の歌」英語劇教室 ・「サックス」あいこさん ・「三味線」清水利勝さん ・「吹奏楽」大山口中学校吹奏楽部 参加人数 338人	・音楽を通じて、地域交流、世代間交流を図る。

講座・学級学習プログラム

講座名	富士クリスマスフェスタ (富士保育園・富士元気ひろば・地区社協との合同)		
対象	市内在住者		
募集人数	自由参加	参加人数	300人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の機会があまりない。</li> <li>・地域でクリスマスを盛り上げる場があまりない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唄って踊ってクリスマスを盛り上げる場を持ち、多くの団体が参加・協力しあい、たくさんの人に集まってもらい、地域の交流を図る。</li> </ul>		
学習期間	令和元年12月	回数	1回
学習場所	大集会室、視聴覚室、休養室2		
予算	総額： 58,970円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 53,970円	総額： 58,970円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 53,970円	算 決
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演者との打ち合わせを密にし、会場の説明を徹底して、発表に合わせて会場の配置を変えるなどの配慮をする。</li> <li>・子どもたちに、普段からの活動成果を発表して楽しんでもらう。</li> </ul>		
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの方が集まり、地域交流、世代間交流ができた。</li> <li>・出演者や観客にフェスタを楽しんでもらい、次回も参加したいとの声があった。</li> </ul>		
備考			

学習報告

No	1	月日	12月22日
学習主題・内容・方法等	富士クリスマスフェスタ 9時50分開場 10時00分開演～16時00分 終演 午前の部10:00～ ・ダンスグループひまわりキッズ ・ダンスグループアークセル ・白井富士保育園 ・大山口中学校吹奏楽部 午後の部13:00～ ・OK'S ・あいこ ・印旛明誠高校 ・ソアヴェイター 参加人数 300人		
学習のねらい	クリスマスを唄と踊り り上げること、地域の交流 を図り、まちづくりに寄与す る。		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月24日	<p>・玩具の電車、ミニカー、りかちゃん人形、おままごと、ドレス貸し出しをして参加親子と一緒に遊ぶ。</p> <p>自由参加 参加人数 大人10人、子ども14人</p>	参加者同士の交流を図る。
2	9月27日	<p>・玩具の電車、ミニカー、りかちゃん人形、おままごと、ドレス貸し出しをして参加親子と一緒に遊ぶ。</p> <p>自由参加 参加人数 大人9人、子ども13人</p>	
3	11月15日	<p>・玩具の電車、ミニカー、りかちゃん人形、おままごと、ドレス貸し出しをして参加親子と一緒に遊ぶ。</p> <p>自由参加 参加人数 大人13人、子ども15人</p>	

事業活動

事業名	電車・ミニカー&おままごと遊び		
対象	未就園児の親子		
参加人数	延べ74人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族が多くなり、特に第一子は自宅内での一人遊びが多く、地域社会との交流もあまりない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段とは違う環境で、参加親子同士の交流を図る。</li> <li>・コミュニケーション能力の向上と集団でのマナーを学ぶ。</li> </ul>		
期 間	平成31年5月～平成31年11月	回数	3回
場 所	学習室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我や事故のないように細心の注意を払う。</li> <li>・初めての参加者にもなじめるように雰囲気作りを心がける。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同世代の子どもを持つ母親同士が知り合いになり、仲間づくりができた。</li> <li>・年3回実施することで、子どもの成長を遊びを通して感じることができた。</li> </ul>		
備 考			

事業活動

事業名	体育館で遊ぶ	
対象	市内在住幼児から高校生まで	
参加人数	24人	
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が苦手な子や、体を動かすことに意欲的でない子が多い。</li> <li>・他学年との交流を図る。</li> <li>・普段遊べない広い体育館でバドミントンや、卓球を楽しむ。</li> </ul>	
期間	令和元年8月	回数 1回
場所	大集会室	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気に参加できるように配慮する。</li> </ul>	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は一緒に遊びに来た友だちとしか対戦していなかったが、時間が経つと違う学年のグループの子と対戦し、他学年との交流が図れた。</li> </ul>	
備考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン、卓球を楽しむ。</li> </ul> <p>参加人数 24人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学年との交流を深める。</li> </ul>
2	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止</li> </ul>	

事業活動

事業名	ハロウィーンフェスティバル 1部「ハロウィーンリトミック」 2部「ハッピーハロウィーン」		
対象	1部・・・乳幼児とその保護者 2部・・・乳幼児～小中学生		
参加人数	延べ200人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会で季節を感じる機会が少ない。</li> <li>・地域住民が気兼ねなく集える環境が少ない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節行事を意識し、参加者に楽しんでもらう。</li> </ul>		
期間	令和元年10月	回数	1回
場所	学習室、保育室、大集会室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我のないよう気を付ける</li> <li>・参加者同士が楽しめるよう児童厚生員が声掛けをした。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二部制にしたことで、乳幼児から大人まで楽しんでもらうことができた。</li> <li>・富士センターの周知に繋がりが、児童ルームの利用が増えた。</li> <li>・合言葉の『トリックオアトリート』でお菓子をプレゼントした。上手に言える子も言えない子も、合言葉を言う楽しみやお菓子のプレゼントにとてもうれしそうだった。</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月31日	<p>・1部・・・「ハロウィーンリトミック」音とリズムに合わせて体を動かしながら楽しくハロウィーン遊びをしました。 参加人数 幼児16人 大人14人</p> <p>・2部・・・「ハッピーハロウィーン」合言葉の「トリックオアトリート」が言えたらお菓子のプレゼント。 参加人数 幼児～小学生129人 大人41人</p>	<p>・季節行事を取り入れながら、参加者に楽しんでもらう。</p>

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月25日	<p>・なんでもバスケット ・プレゼント交換 ・サンタのパンケーキ作り ・ビンゴ</p> <p>参加人数 19人 自己負担金 300円 (キャンセル2人)</p>	<p>参加者同士の交流を図る。 ・季節行事を意識し、参加者に楽しんでもらう。</p>

事業活動

事業名	クリスマス会
対象	市内在住小学生
参加人数	19人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他学区や他学年と交流する機会が少ない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節行事としてクリスマスを楽しむ。</li> <li>・職員や他学年と交流し、友だちを作る。</li> <li>・協調性やチームワークを高める。</li> </ul>
期 間	令和元年12月
場 所	大集会室、調理室
回数	1回
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が楽しめるような準備を心掛ける。</li> <li>・怪我や事故のないように細心の注意を払う。</li> <li>・急遽、時間があまりビンゴゲームで時間調整をした。</li> </ul>
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンケーキ作りでは、高学年が低学年を気遣う姿が見られた。</li> <li>・一人で参加した子にお友だちができた。</li> </ul>
備 考	

事業活動

事業名	美化交流
対象	地域住民
参加人数	延べ51人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が身近に感じ、利用できるよう富士センターの業務を周知する必要があるがまだ不十分である。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中核としての富士センターを地域ボランティアの手を借りて清掃・整備し、身近なコミュニケーション施設をめざす。</li> </ul>
期 間	令和元年7月、11月
場 所	富士センター敷地内建物周辺
事業参加者等への配慮等	<p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアにも呼びかけ、事前に準備した草花の植付け、除草等の共同作業を通じてお互いのコミュニケーションを図り、富士センターの存在を認識してもらう。</li> </ul>
備 考	<p>地区の方から草花の寄附を頂いた。</p>

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月 1日	富士センターの休館日に地域の有志とともに実施し、花の植え替え、除草等を実施。その後全員で懇談。 参加人数 27人	共同作業を通じ、住民間の結束と富士センターの存在の意義を認識する。
2	11月11日	本年2回目の美化交流会。 富士センター敷地内の草取り、プラセンターへの草花の入れ替えを全員で実施。その後全員で懇談。 参加人数 24人	定期的に繰り返し実施することにより地域の中心としての富士センターへの愛着心を持ってもらう。



事業活動

事業名	カラオケ交流会		
対象	市内在住者		
参加人数	自由参加		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラオケを気軽に楽しめる機会が少ない。</li> <li>・地域交流の場が少ない。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者にカラオケを楽しんでもらう。</li> <li>・老人憩いの家を一般に開放する。</li> <li>・カラオケを通じて地域住民の交流を図る。</li> </ul>		
期間	令和元年6月～12月	回数	4回
場所	老人憩いの家		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が快適に過ごせるよう席の配置を工夫し、また、麦茶・お茶菓子を出す。</li> <li>・「カラオケカード」を用意して、氏名、曲名などを記載・提出してもらい、公平に歌えるよう配慮する。</li> <li>・後半にカラオケの採点をしてプレゼントを用意する。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が楽しく過ごせた。</li> <li>・カラオケを通じて地域住民の交流が図れた。</li> <li>・トランプルなく参加者が公平に歌えた。</li> <li>・後半のカラオケ採点により、参加者が増え、一層交流が深まった。</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩いの家を一般開放して、自由にカラオケを楽しみながら交流してもらおう。</li> <li>・歌の順番などでトランプルにならないよう、公平性に配慮して、参加者に楽しんでもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者にカラオケを楽しんでもらう。</li> <li>・カラオケを通じて地域住民の交流を図る。</li> </ul>
2	8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩いの家を一般開放して、自由にカラオケを楽しみながら交流してもらおう。</li> <li>・歌の順番などでトランプルにならないよう、公平性に配慮して、参加者に楽しんでもらう。</li> </ul>	
3	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩いの家を一般開放して、自由にカラオケを楽しみながら交流してもらおう。</li> <li>・歌の順番などでトランプルにならないよう、公平性に配慮して、参加者に楽しんでもらう。</li> <li>・参加者がさらに楽しめるよう、後半にカラオケの採点をしてプレゼントを用意する。</li> </ul>	
4	12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩いの家を一般開放して、自由にカラオケを楽しみながら交流してもらおう。</li> <li>・歌の順番などでトランプルにならないよう、公平性に配慮して、参加者に楽しんでもらう。</li> <li>・参加者がさらに楽しめるよう、後半にカラオケの採点をしてプレゼントを用意する。</li> </ul>	

事業活動

事業名	ふじっこダイニング		
対象	白井第三小学校地区小中学生		
参加人数	延べ122人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困家庭や食事困難な子供達が特別視されずに、周りの子供たちと楽しく一緒に食事をしながらコミュニケーションを図る場所がない。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な食事を低価格（1食100円）で提供し、皆と一緒に食事をすることにより、子供たちの様子を見守る。</li> <li>・地域ボランティアとのふれあいを通して、社会教育の推進を図る。</li> </ul>		
期間	平成31年4月～令和2年3月	回数	9回
場所	調理室・大集会室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で参加する子供に楽しい雰囲気に参加できるように、声かけをする。</li> <li>・調理室内で食事をとする為、怪我のないよう安全確保に努めた。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回を重ねる毎に子供達への周知も浸透し、特別視される事なく参加できる環境作りが出来つつある。</li> <li>・リピートの子供たちが、友達を誘って参加する様子を多く見かける。</li> <li>・輪に入れない子供や挨拶が苦手な子供が多かったが、感謝の気持ちを言葉にできるようになってきたと感ぜられる。</li> <li>・地域ボランティアの協力体制が継続されている。</li> <li>・周知方法が地域回覧と館内ポスターのみだったが、昨年から引続きの事業の為、口コミや児童厚生員の協力もあり、参加者が増えてきている。</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品材料の一部は地域住民から寄付して頂いている。</li> </ul>		

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月6日	メニュー ピラフ・スूप・ポテトサラダ・ カップケーキ 参加人数 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアの協力で世代間交流を図る。</li> <li>・子供の健全育成を図りつつ、子供の居場所作りをする。</li> <li>・食事と遊びの時間を通して、子ども達の交流を図る。</li> <li>・子ども達のコミュニケーション能力の向上や、マナーを身に付けてもらう。</li> </ul>
2	6月8日	メニュー カレーライス・サラダ・デザート 参加人数 13人	
3	7月13日	メニュー ロコモコ・フライドポテト・サラ ダ・レアチーズケーキ・梨 参加人数 16人	
4	8月10日	メニュー そうめん・かき揚げ・フライドポ テト・プリン 参加人数 16人	
5	9月14日	メニュー から揚げ・フライドポテト・サラ ダ・パウンドケーキ・梨 参加人数 24人	
6	11月9日	メニュー パスタ（ナポリタン）・デザート・ サンドウィッチ（卵） 参加人数 6人	
7	12月14日	メニュー クリスマスプレレート （炊込みバターライス・フライドチ キン・フライドポテト・串刺しサ ラダ・デザート） 参加人数 18人	

事業活動

事業名	シニア食堂		
対象	概ね70歳以上の方		
募集人数	20人	年間参加人数	延べ43人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者を主体として、地域住民が気軽に集える場所が少ない。</li> <li>高齢化社会が進む中、人と接する機会がなくなり孤立する方が増えている。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に交流の場を提供し、仲間づくりの手助けをする。</li> <li>定期的に行い、地域住民の繋がりを深めてもらう。</li> <li>パランスのとれた食事を提供し、健康的な食生活の意識を高めてもらう。</li> </ul>		
期間	令和2年1月～2月	回数	2回
場所	調理室・休養室2		
予算	総額： 36,541円 ※うち参加者負担金： 300円×40人 決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 36,541円	総額： 36,541円 ※うち参加者負担金： 300円×43人 決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 36,541円	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者同士が交流を持てるよう1つのテーブルに全員が座れるように配慮する。</li> <li>雰囲気よく過ごせるよう配慮する。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女問わず多くの方の参加があり、交流の場を提供できた。</li> <li>地域住民がたくさん参加することにより、情報交換の場になった。</li> </ul>		
備考			

8	1月11日	メニュー カツカレー・サラダ・ブリン 参加人数 13人	
9	2月8日	メニュー 恵方巻・豚汁・チョコレートパ ニア 参加人数 9人	

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月15日	メニュー：タラの香草焼き、豆腐の梅シツ天ぷら、アサリの味噌汁、ほうれん草としめじのピーナッツ和え・煮卵添え 参加者 21名 自己負担金 300円	事業のねらい ・高齢者の居場所作りをする。 ・概ね70歳以上の高齢者を対象にバランスのとれた食事を提供する。
2	2月19日	メニュー：豚ロースの味噌マヨネーズ焼き・かぼちやとレーズンのサラダ添え、高野豆腐の卵とじ、茄子と油揚げの味噌汁 参加者 22名 自己負担金 300円	

事業活動

事業名	子どもの居場所作り
対象	第三小学校 低学年児童
参加人数	延べ15人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、第三小学校では、低学年の児童は午前7時35分を過ぎないと学校に登校できず、その前に仕事に出なければならぬ家庭にとって、子どもを一人残すことへの不安がある。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士センターで登校前の児童を預かり、子どもの安全と勤労世帯への一助を担うことで、生活環境の安全を図る。</li> </ul>
期 間	平成31年4月～令和2年3月
場 所	児童ルーム
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込制として、事前にチケット（10回分500円券）を購入してもらう。</li> <li>・児童を預ける際は事前連絡の上、当日午前7時以降に富士センターまで保護者が送るよう指導している。</li> </ul>
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校前の児童を富士センターで預かる。ボランティアと一緒に過ごし、7時45分以降に送り出す。（場合によっては学校まで送る。）子どもの安全と勤労世帯への一助を担うことができた。</li> </ul>
備 考	
期 間	平成31年4月～令和2年3月
回 数	随時

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月28日	<p>・ボランテイアにより登校前の児童を預かり、富士センターで一緒に過ごし、7時45分以降に送り出す。</p> <p>参加人数 合計15人</p>	<p>子どもの安全と勤労世帯への一助を担うことで、生活環境の保全を図る。</p>
2	6月18日		
3	7月17日		
4	9月6日		
5	9月11日		
6	9月13日		
7	9月18日		
8	10月8日		
9	10月9日		
10	10月10日		
11	10月11日		
12	10月18日		
13	10月23日		
14	11月1日		
15	11月19日		